

週間漁海況情報 2020年第32号

令和2年8月18日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

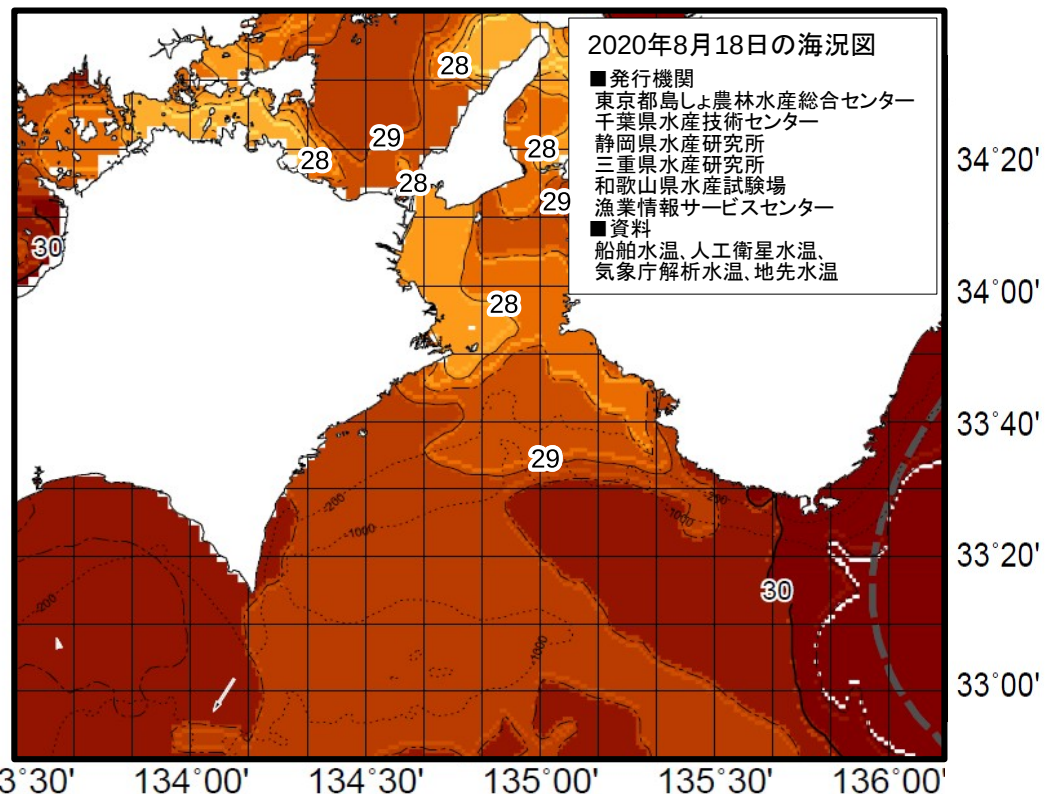
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温はおおむね30℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘で28℃台、紀伊水道で27℃台、海部沿岸で27℃～29℃台と前号時点から大きく上昇している。

右図破線(---)は黒潮北縁。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

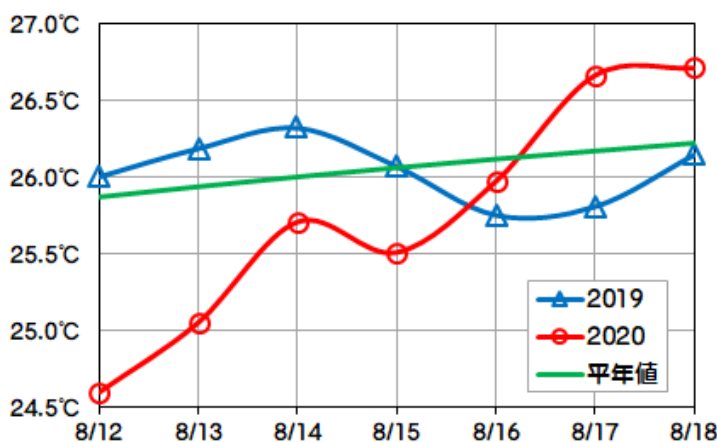
2. 地先水温(2020年8月12日～8月18日)

鳴門地区の水温は、「やや低め」～「平年並み」の24.6℃～26.7℃で、7日間で2℃以上の上昇幅となった。

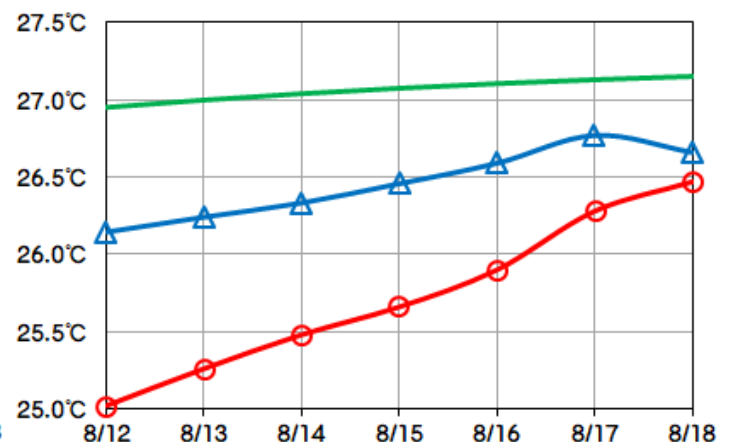
日和佐地区の水温は、「低め」～「やや低め」の25.0℃～26.5℃で、右肩上がりに推移した。

先週「かなり低め」で推移した牟岐地区の水温も、17日以降急上昇し18日には「平年並み」の27.5℃となっている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月19日～8月25日)

黒潮は、室戸岬沖は「著しく離岸」～「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温は、「平年並み」～「やや高め」、日和佐地区の水温はおおむね「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2020 年8月10日～8月16日

盆休み等の影響で、操業隻数、日数とも通常より少なかった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

紀伊水道（標本漁協：3）船びき網：シラスが18.8ト（1日1隻当たり375キ）水揚げされた。

釣り：イサキが大主体に0.1ト（13キ）水揚げされた。

延縄：ハモが減って3.2ト（109キ）、タチウオが大きく減って特大主体に0.6ト（21キ）、サワラが減って0.2ト（23キ）水揚げされた。

小型定置網：ブリが大きく増えてはまち級主体に8.8ト（588キ）、イサキが減って0.3ト（20キ）、マアジが小小主体に0.2ト（12キ）、マサバが大きく減って0.2ト（23キ）、メイチダイが増えて0.1ト（10キ）、マダイが増えて小主体に0.1ト（7キ）水揚げされた。

底びき網：ハモが減って中主体に6.8ト（169キ）、マダイが減って特大主体に0.1ト（8キ）、えそ類が増えて0.1ト（4キ）水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

海部沿岸（標本漁協：4）小型定置網：マイワシが減って2ト（497キ）、マサバが大きく減って0.3ト（82キ）、ウルメイワシが大きく減って0.2ト（25キ）、マアジが大きく減って0.1ト（16キ）水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	18,750	375		→
	釣り	8	イサキ	103	13	大主体	→
	延縄	29	ハモ	3,166	109		↘
		27	タチウオ	571	21	特大主体	↘↘
		11	サワラ	248	23		↘
	小型定置網	15	ブリ	8,826	588	はまち級主体	↗↗
		14	イサキ	284	20		↘
		19	マアジ	232	12	小小主体	→
		10	マサバ	231	23		↘↘
		14	メイチダイ	136	10		↗
		20	マダイ	131	7	小主体	↗
		底びき網	40	ハモ	6,755	169	中主体
	17		マダイ	140	8	特大主体	↘
	29		えそ類	126	4		↗
海部沿岸	小型定置網	4	マイワシ	1,987	497		↘
		4	マサバ	330	82		↘↘
		6	ウルメイワシ	150	25		↘↘
		7	マアジ	111	16		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘